学校番号	1206

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	実践英語	3	2	・Amity English Communication Ⅰ （C Ⅰ 704） ・Amity English Communication Ⅰ ワークブック（開隆堂出版） ・Word-Meister 英単語・熟語 1700 ・Word-Meister 英単語・熟語 1700 Training Note②

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コミュニケーションⅠに引き続き、「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどの概要をある程度とらえることができる ・事実と意見などを区別して聞くことがある程度できる ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴に注意しながら聞こうとすることができる	・説明や物語などを読んで、情報や考えなどの概要をある程度とらえることができる ・事実と意見などを区別して読むことができる ・説明や物語などを、聞き手にある程度伝わるように音読することができる ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などを意識しながら読むことができる	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見を交換したりすることができる ・事実と意見などを区別して話すことができる ・リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴､話す速度、声の大きさなどに注意しながら話そうとすることができる	・簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。 ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、教員などの補助があれば簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔な文章を書こうとすることができる ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書こうとすることができる ・事実と意見などを区別して書こうとすることができる

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの基礎を理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ・授業内でのワークシート等に対して日常的に取り組めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson4 “Endangered Species Lesson 5 “The History of Chocolate”	聞くこと	a: 音声を聞き、教材などの補助があれば単語を聞き取れる。 b: 画像等の視覚的情報があれば話される内容が推察できる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内プリント
		読むこと	a: 不定詞、動名詞を教材などの補助があれば見つけることができる。 b: 文章を読み概要をとらえることができる。 c: 文章を読み概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと	a: 補助があれば、不定詞、動名詞を使って簡単な会話ができる。 b: 例文を活用し自分で文章を作れる。 c: 文法を理解し文章を読もうとする。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 教材などの補助があれば例文を作ることができる。 b: 例文を活用し自分で文章を作れる。 c: 文法を理解し書こうとする。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
	Lesson 6 “Our School” Lesson 7 “Serendipity	聞くこと	a: 音声を聞き、教材などの補助があれば単語を聞き取れる。 b: 画像等の視覚的情報があれば話される内容が推察できる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内プリント
		読むこと	a: 比較、現在完了形を教材などの補助があれば見つけることができる。 b: 文章を読み概要をとらえることができる。 c: 文章を読み概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 補助があれば、比較、現在完了形を使って簡単な会話ができる。 b: 例文を活用し自分で文章を作れる。 c: 文法を理解し文章を読もうとする。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 教材などの補助があれば例文を作ることができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し書こうとする。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
	Lesson 8 “Sapeurs”	聞くこと	a: 音声を聞き、教材などの補助があれば単語を聞き取れる。 b: 画像等の視覚的情報があれば話される内容が推察できる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業内プリント
		読むこと	a: 受動態を教材などの補助があれば見つけることができる。 b: 文章を読み概要をとらえることができる。 c: 文章を読み概要をとらえようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 補助があれば、受動態を使って簡単な会話ができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し文章を読もうとする。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 教材などの補助があれば例文を作ることができる。 b: 例文を活用し自分で文章が作れる。 c: 文法を理解し書こうとする。	定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度